

第46回「鐘ヶ淵地区まちづくり懇談会」 議事概要

日 時 令和7年5月23日（金） 午後7時～午後8時30分

場 所 隅田小学校 視聴覚室

（5）質疑応答

- 質問 : いろいろとまちづくりを検討しているが、鉄道立体化の有無によってまちづくりの内容が大きく変わるため、やるかやらないかをはっきりしてほしい。鉄道立体化する場合においても、いつ鉄道立体化するかが重要となってくる。踏切部だけの鉄道立体化では連続立体化とならず、補助もでないため、優先整備路線9・10号線の整備を先行して整備すべきと考える。
- 回答（墨田区） : 優先整備路線9・10号線の道路拡幅は随時進めており、9号線の現在鉄道部分については、令和3年に新たに道路区域に編入した。
鉄道立体化は地元の悲願であるため、今回改定したまちづくり計画において、墨田区と地元住民が鉄道立体化やまちづくりに前向きであることを国や東京都にも示していきたい。
- 質問 : 毎年同様の質問をしているが、鐘ヶ淵通りの拡幅整備に必要な残り25%の用地取得は、なぜ進んでいないのか、用地取得のためにどのような取組をしているか明確にしてほしい。
- 回答（東京都） : 鋭意用地取得を進めているが、権利者の生活再建や移転先など、権利者毎に個人の事情や課題があり、これらの課題解決のため日々検討、折衝を重ねている。
- 質問 : 鉄道立体化は、東武鉄道の土地で実施するはずだが、東武鉄道の担当者はまちづくり懇談会に参加しないのか。なぜ、国や都や墨田区が関わってくるのか。
- 回答（墨田区） : 鉄道立体化は、鉄道事業者も関わるが、公共性が高い事業のため、国や東京都、区といった公共が中心となって進めることが一般的である。
鐘ヶ淵駅付近では、東京都が調査を進めている段階であり、これには東武鉄道も協力している。また、鉄道立体化に伴う費用負担なども東京都、区、鉄道事業者ごとに負担割合が決められている。
- 質問 : 墨田五丁目の都市整備用地において土壌改良をするとのことだが、改良が必要となった経緯を教えてほしい。
- 回答（東京都） : 都市整備用地は、以前の使い方によって、健康には問題ない程度であるが基準値を上回るヒ素などが検出されたため、土壌改良を実施することとなった。
- 質問 : まちづくり計画の説明資料において、まちづくりの視点の横に記載されている評価の表は何を示したものか。

回答（墨田区）：まちづくり計画の計画期間が経過したとき、目標をどの程度達成したかを評価する基準を記載している。現時点では、ハード整備等は検討段階であり、定量的な評価が難しいことから、墨田区全域で実施している住民意識調査をベースとして基準値を設定している。

質問：評価の表を記載しても理解することが難しいため、記載の必要はないと考える。

回答（墨田区）：情報量が多く、わかりづらくなっている部分があると思うが、計画としては、評価する指標が必要であると考えます。

質問：パネル展やパブリックコメントを実施したようだが、広く周知が届いていないのではないかと。これらに参加していない人にとっては、関係のない世界で進められているように感じる。

また、高台まちづくりや駅前広場など、夢のような話がされているが、土地も余っておらず、誰がお金を出すかも定かでない状況で進めるのは難しいのではないかと。もっと地に足をついたまちづくりをしてほしい。

私も鐘ヶ淵通りの拡幅整備で用地買収に応じたが、一人が動いたところで本当に整備が進むのか心配である。

回答（墨田区）：パネル展の参加者数は、4日間合計で87名であった。昨年度は100人以上に参加していただいたが、今年度は天候的な問題もあり、参加者が減少している。

現実的な案を早期に取り組むという観点も必要であると考えますが、まちづくりにおいては段階的な検討が必要である。令和5、6度は計画の改定を進め、令和7年度以降は具体的に検討を進めていく予定である。実際にどのような取組を進めているか不明瞭な部分もあるため、まちづくりに関する情報をチラシやインターネット、SNS、掲示板といった様々な手段を用いて周知する予定である。

質問：既に鐘ヶ淵駅付近に設置してある掲示板とは別のものを設置するのか。

回答（墨田区）：区で取り組むまちづくりに特化した掲示板を新規に設置することを予定している。高台まちづくりや駅前広場などのまちづくりを、理想論ではなく、具体的なものとしていくため、しっかりと計画を策定し、それに基づき一歩ずつ議論を進めていきたいと考えているので、今後ともご協力いただきたい。

質問：鐘ヶ淵通りの拡幅整備に際し、現在の用地買収の進捗を説明されたが、どこが進められたか具体的に教えてほしい。

また、隅田中央町会の人まちづくり懇談会に参加していないが、どのような経緯があって参加していないのか。

回答（東京都）：鐘ヶ淵通りの拡幅整備の件については個人情報となるため、具体的な場所は提示することができないが、今後ともご協力いただけるように働きかける所存である。また、東京都のHPで、現在の進捗状況を示しているのを併せてご確認いただきたい。

回答（墨田区）：隅田中央町会も当初はまちづくり懇談会に参加していたが、方向性や意見の食い違いにより脱会した経緯がある。まちづくりの推進にあたっては、隅田中央町会も含めた地区全体で協力する必要があるため、まちづくりの情報などは継続的に知らせている。また、まちづくり懇談会を開催する際には、随時申し入れし、参加を促している。

今後、まちづくりについて、気軽に意見交換する場づくりも考えているため、過去の経緯にとらわれずに議論できる場として活用したいと考える。

質問：第４５回まちづくり懇談会に出席者一覧があるが、誤った参加者が記載されているため、確認いただきたい。

回答（墨田区）：確認する。

質問：これからまだ事業の時間がかかるため、東京都や区が情報を提供するとともに、情報交換をできるような小さな会を開いてほしい。まちづくり懇談会のような大きな会では、意見がまとまらないため、小さな会で１つのテーマを検討し、決定事項をまちづくり懇談会に提案するといった形式が良いと考える。

また、東京都や区の担当者は、定期的に変更するのではなく、一人くらいは窓口として１０～２０年の長期間の担当をつけてほしい。

回答（墨田区）：提案の内容は、まちづくりを進める上で必要なことであると認識しており、今年度中に、まちづくり懇談会とは別の新たな意見交換する場を設立する。

隅田中央町会にも参加いただけるようにお願いする。

質問：それがまちづくり協議体か。

回答（墨田区）：その通りである。まちづくりに興味のある方やパネル展に参加された方など、広く参加者を募集したいと考えている。

質問：この地域では、７つの町会と２つの自治会からなる墨田町の町会連盟がある。町会連盟では、町会で起こる様々な問題について定期的に意見交換をしている。この町会連盟が、地域のまちづくりの主力として動き出すので、よろしくお願いします。

以上